

レジデントカリキュラム — 糖尿病・代謝内科コース —

概要

近年我が国での心血管病の増加とともに、これら動脈硬化性疾患の危険因子となる糖尿病、高脂血症、肥満やこれらが集積したメタボリックシンドロームなどの代謝疾患の管理、治療がその予防上、ますます重要になってきている。一方、今日、予防医学は Evidence based medicine をもとに展開されており、同時にテーラーメイド医療の重要性が各医療分野において認識されてきている。当センター糖尿病・代謝内科では動脈硬化性疾患進展の予防という観点からこれらの代謝疾患の病態の理解と治療法の修得を研修の主要な目標としています。研修期間は3年間を原則としますが、1年間あるいは2年間の研修も可能です。

一般目標

下記の代謝疾患に関する検査法、診断法、治療方法を修得する。

- 1) 糖尿病の病型診断とその病型に即した治療法の選択を修得し、更に糖尿病の大血管、細小血管合併症の評価法、対処法などを修得する。
- 2) 高脂血症の病型診断（一次性、二次性）及び治療法を修得する。
- 3) 肥満症の診断及び治療法を修得する。
- 4) テーラーメイド医療における分子生物学的な考え方を修得する。
- 5) 臨床研究の基本的な方法などを修得する。

個別目標

- 1) 糖尿病、高脂血症、肥満症に特徴的な身体所見、検査所見等の基本的研修
- 2) 糖尿病の診断と治療
 1. 糖尿病の病型、病期の診断とそれに応じた治療法の修得
 2. 血管合併症の評価法の修得
- 3) 高脂血症の病型診断とそれに応じた治療法の修得
- 4) 肥満症の病態把握と治療法、及び合併症の理解と治療法の修得
- 5) 代謝疾患の集積するメタボリックシンドロームの診断と病態の理解
- 6) 上記代謝疾患に合併する動脈硬化性疾患の診断法と治療法の修得
- 7) 糖尿病と ASO に合併する足病変の診断、治療法の修得
- 8) 運動療法の基本と運動処方法の修得
- 9) 糖尿病、肥満症のチーム医療への参加と理解
- 10) 頸動脈エコー、血管内皮機能検査、インスリン感受性テストの修得
- 11) 家族性高コレステロール血症の治療手順としての血漿交換治療法、すなわち LDL

アフエレーシスの意義、実施、応用、などの研修

12) 甲状腺機能異常の検査の進め方と治療方針決定の修得

3年間で最低経験する主な症例〔症例数〕

1) 疾患

1. 糖尿病（1型〔2〕、2型〔70〕）
2. 高脂血症〔50〕（家族性高コレステロール血症〔4〕、家族性複合型高脂血症〔2〕などの遺伝性高脂血症を含む）
3. 肥満症〔15〕
4. 代謝疾患の合併症（腎症〔20〕、睡眠時無呼吸症候群〔3〕など）
5. 代謝疾患に合併する動脈硬化性疾患（虚血性心疾患〔35〕、脳卒中〔15〕、ASO〔8〕など）
6. 甲状腺疾患（甲状腺機能低下症、バセドウ氏病、動脈硬化発症リスクとしての Subclinical hypothyroidism など）

2) 主な検査・治療手技

1. 頸動脈エコー〔200〕
2. インスリン感受性テスト〔100〕
3. 血管内皮機能検査〔100〕
4. LDLアフエレーシス〔50〕

研修方法

1) 指導体制

レジデントは、ローテーションごとに指導医とペアで入院患者を受け持つ。専門修練医、上級レジデントは下級レジデントに対して助言を行うなど指導的役割を担う。

2) 患者受持

9階西、緊急病棟において入院患者を担当する。平均受持ち数5～6名（1年次最初の3ヶ月は高血圧・腎病棟（9階西病棟）症例も受け持つ）

3) 検査業務

以下の検査を少なくとも平均週1日（半日×2）担当する。

頸部エコー、インスリン感受性試験（SSPG法）、血管内皮機能検査

4) 当直業務

夜間または時間外の重症または緊急患者管理の修練を目的として、スタッフの指導のもとに月最低24時間一般内科当直業務を行う。

5) ローテーション

最初の1年間は、糖尿病・代謝内科における研修の他に、高血圧・腎臓内科で3か月間（糖尿病・代謝内科と兼務）のローテーション研修があります。2年次は、糖尿病・

代謝内科における研修の他に、希望により心臓血管内科および脳血管内科へのローテーション研修ができます。3年次は、糖尿病・代謝内科における臨床および臨床研究研修を原則としますが、希望により他科へのローテーションも可能です。

回診・カンファレンス等の週間スケジュール

曜日	時間	内容	
月曜日	午前	インスリン感受性テスト(SSPG)	
		血管内皮機能検査(FMD)	代謝機能検査室
	午後	頸動脈エコー	第二超音波室
火曜日	午前	代謝リハビリ(午前・午後隔週)	リハ棟 4F
		LDL アフェレーシス(隔週)	透析室
	午後	腎高・代謝合同カンファレンス	9Wカンファレンス室
水曜日		代謝リハビリ	リハ棟 4F
木曜日	午前	インスリン感受性テスト(SSPG)	
		血管内皮機能検査(FMD)	代謝機能検査室
	午後	代謝内科回診	10Wカンファレンス室
金曜日	午前	頸動脈エコー	第二超音波室

研修記録と修了評価

- 1) レジデントは、検査・治療の件数、受け持った症例のリストをローテーションごとに指導責任者に提出する。
- 2) 指導責任者は、ローテーション及び各年の達成状況を確認する。
- 3) 修了時に日本糖尿病学会認定専門医の受験資格に相当する症例数を経験する。
- 4) 3年修了時には指導責任者が評価し、研修委員会において修了を判定する。